

第5章

高齢者の生活と介護者の就労状況調査結果
(在宅介護実態調査結果)

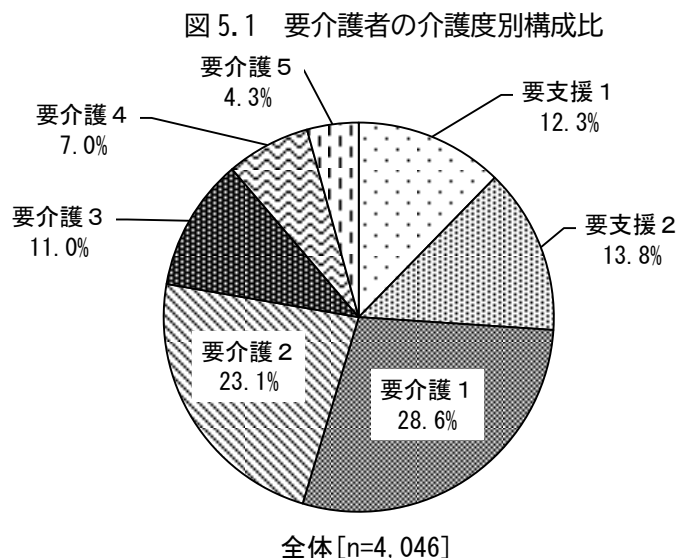
山形市

第5章 高齢者の生活と介護者の就労状況調査結果 （在宅介護実態調査結果）

1 ご本人（要介護者）の状況について

（1）要介護者の介護度

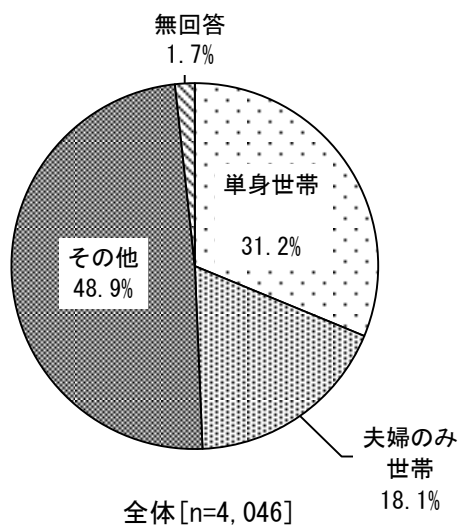
○回答のあった要介護者の介護度をみると、「要介護1」（28.6%）が最も高く、次いで「要介護2」（23.1%）、「要支援2」（13.8%）、「要支援1」（12.3%）となっています。



（2）要介護者の世帯状況

○世帯類型をみると、「単身世帯」は31.2%、「夫婦のみ世帯」は18.1%となっており、「その他」の世帯が48.9%と最も高くなっています。

図 5.2 世帯類型<問1>



(3) 家族・親族から介護してもらう頻度

○家族・親族による介護の頻度をみると、「ほぼ毎日ある」(42.9%)が最も高く、「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」「週に1～2日ある」「週に3～4日ある」と合わせると66.7%の方が家族・親族による介護を受けている状況です。

○また、介護度別にみると、要介護1～5では「ほぼ毎日ある」(45.9～54.8%)、要支援1・2では「ない」(48.9・35.4%)が最も高くなっています。

図 5.3 家族・親族から介護してもらう頻度<問 2>

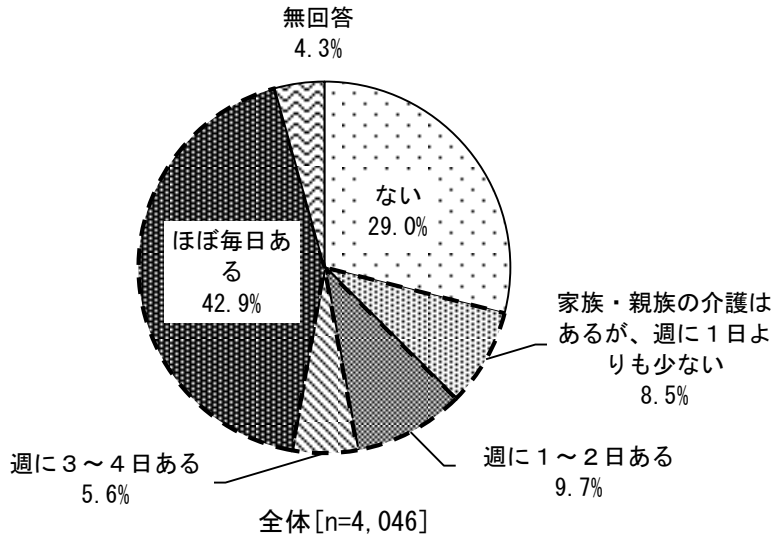
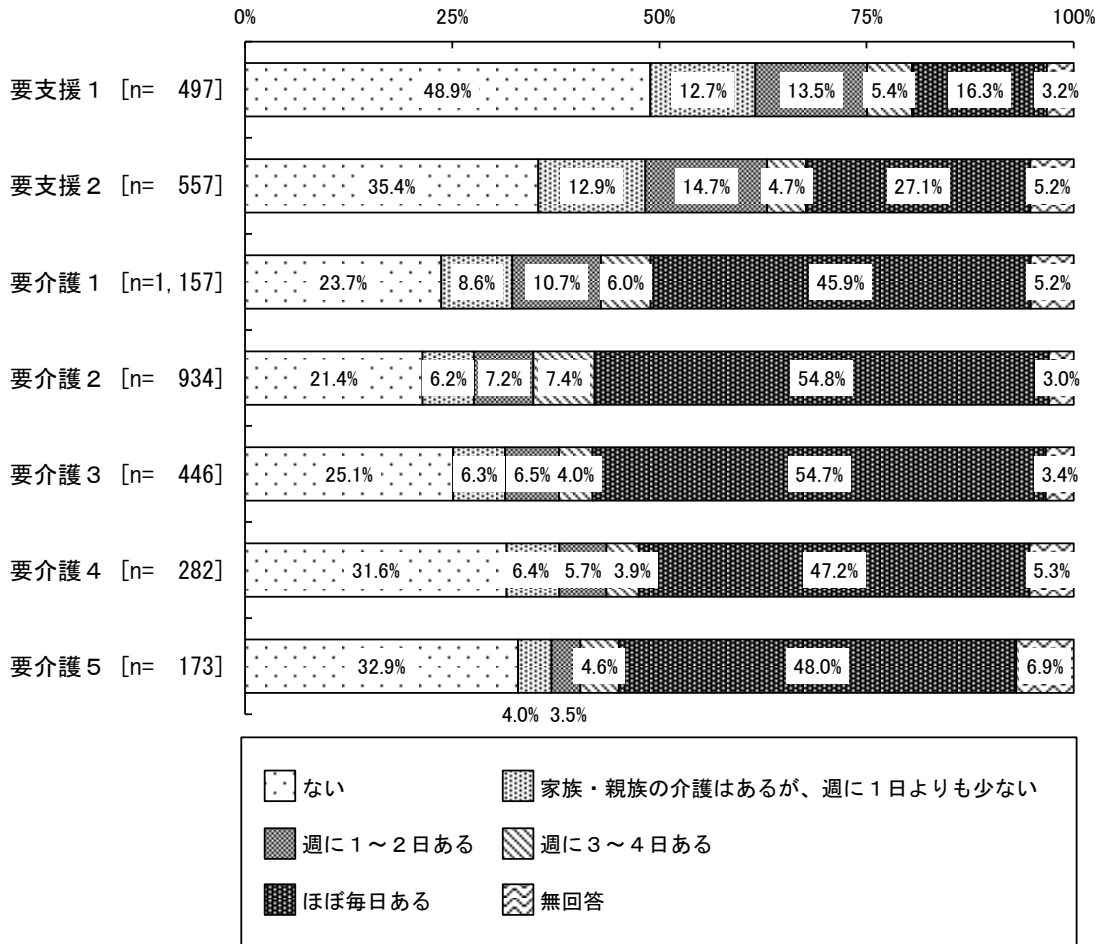
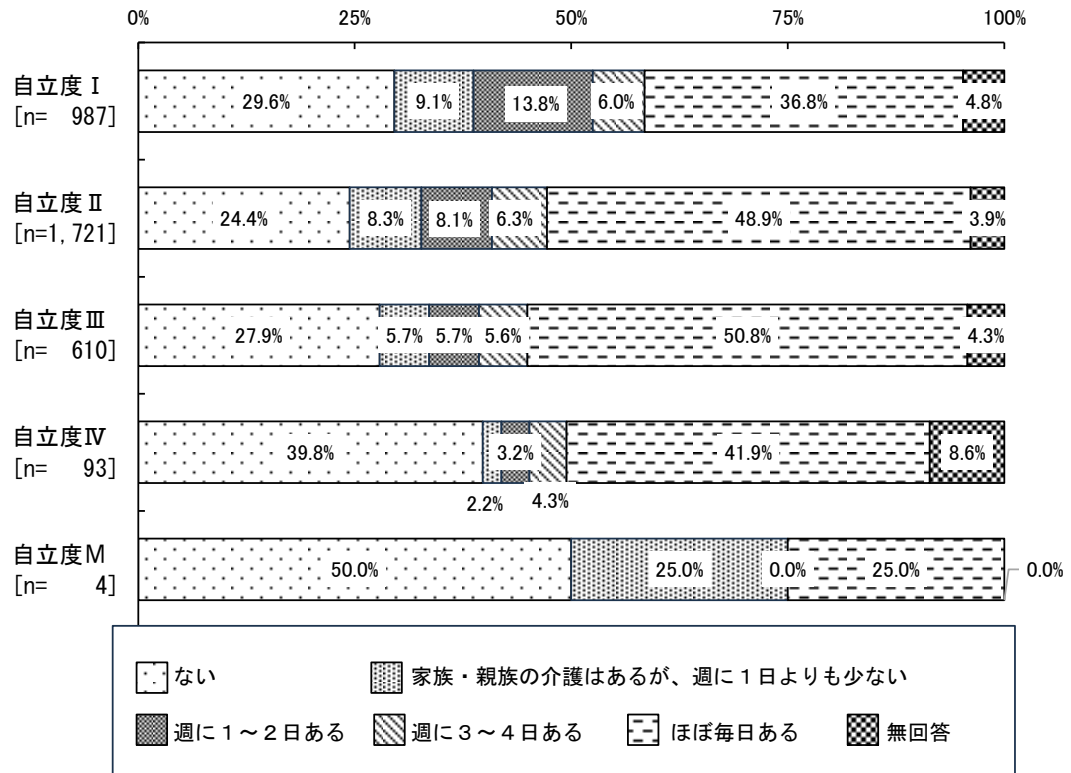


図 5.4 「介護度」×「家族・親族から介護してもらう頻度<問 2>」



○認知症高齢者日常生活自立度別にみた家族・親族から介護してもらう頻度をみると、自立度Ⅰ～Ⅳで「ほぼ毎日ある」(36.8～50.8%)が最も高く、次いで「ない」(24.4～39.8%)となっています。

図 5.5 「認知症高齢者日常生活自立度」×「家族・親族から介護してもらう頻度<問2>」



2 主な介護者等の状況（属性等）について

（1）主な介護者の状況

- 要介護者からみた主な介護者は、「子」(51.6%) が最も高く、次いで「配偶者」(25.7%)、「子の配偶者」(14.6%) となっています。
- 主な介護者の性別は、「女性」(66.9%)、「男性」(31.9%) となっています。
- 主な介護者の年齢は、「60～69歳」(35.1%) が最も高く、次いで「50～59歳」(22.8%)、「70～79歳」(19.1%)、「80歳以上」(16.2%) となっています。

図 5.6 要介護者からみた主な介護者<問 3>

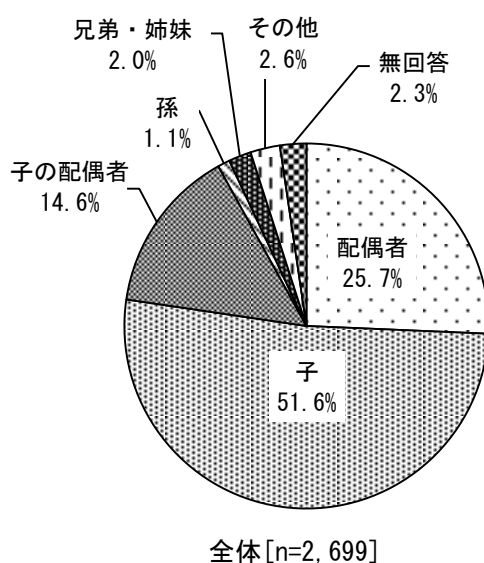


図 5.7 主な介護者の性別<問 4>

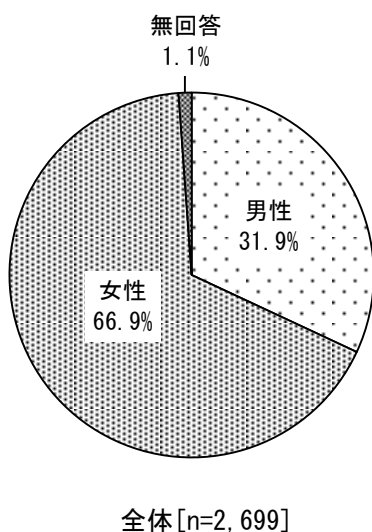
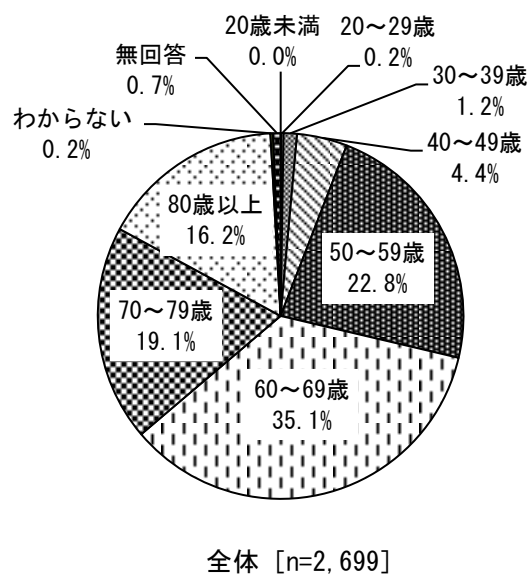


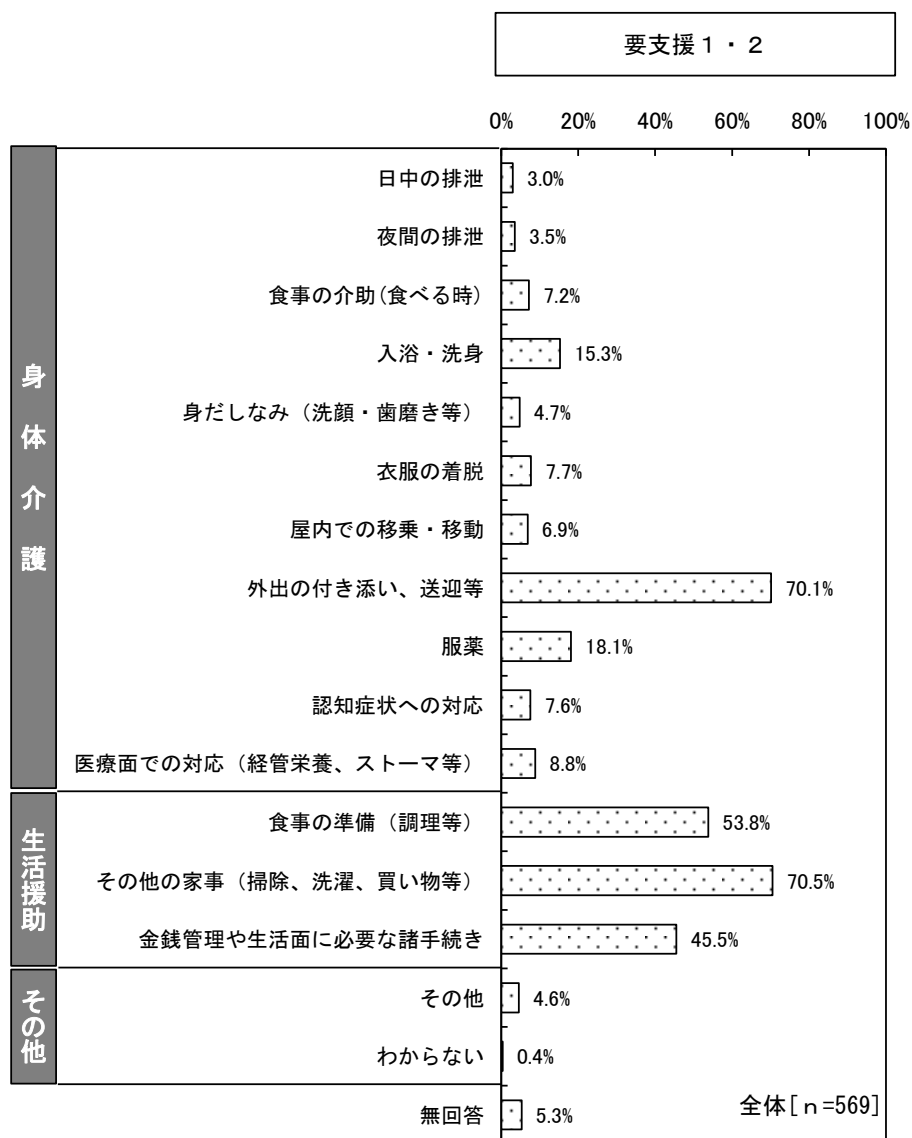
図 5.8 主な介護者の年齢<問 5>



（2）主な介護者の介護実態

- 要支援1・2の方の身体介護では「外出の付き添い、送迎等」（70.1%）が最も高く、次いで「服薬」（18.1%）、「入浴・洗身」（15.3%）となっています。
- 生活援助では、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が70.5%、「食事の準備（調理等）」が53.8%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が45.5%となっています。

図 5.9 主な介護者が行っている介護等<問 6>

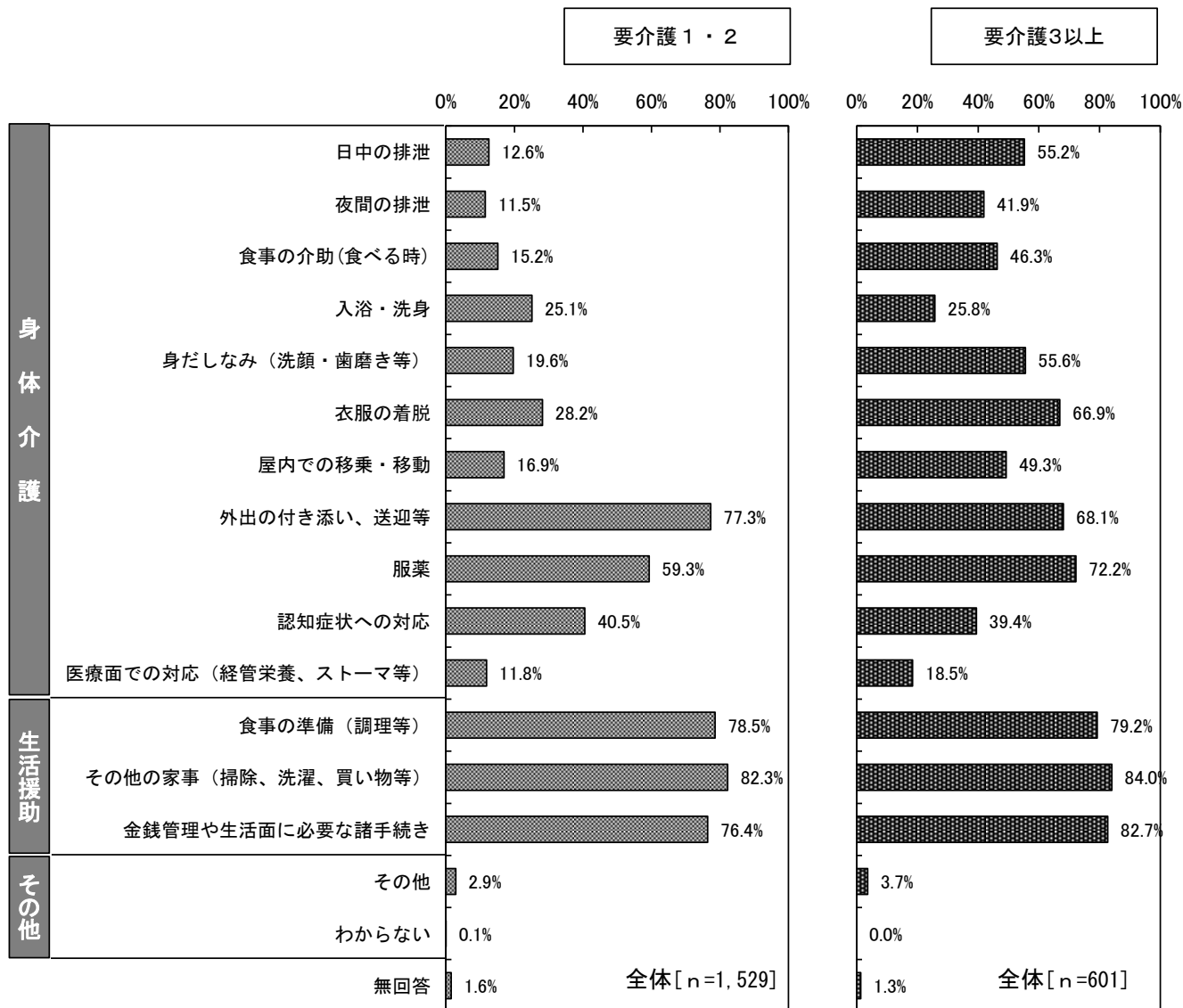


○要介護1・2の方の身体介護では「外出の付き添い、送迎等」(77.3%)、「服薬」(59.3%)が高くなっています。

○生活援助では、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が82.3%、「食事の準備(調理等)」が78.5%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が76.4%となっています。

○要介護3以上の方の身体介護をみると、「服薬」(72.2%)、「外出の付き添い、送迎等」(68.1%)、「衣服の着脱」(66.9%)で割合が高くなっています。

○生活援助では、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が84.0%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が82.7%、「食事の準備(調理等)」が79.2%となっています。



（3）家族・親族が介護のために離職した状況

○家族・親族が介護を理由に退職・転職した状況を見ると、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」（7.6%）、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」（1.4%）が離職し、2.8%の方が転職しています。

○世帯類型では、介護離職者と継続就労者とも「その他」の世帯（62.3%・57.0%）が最も高く、次いで「単身世帯」（23.4%・33.3%）、「夫婦のみ世帯」（12.3%・9.0%）となっています。

図 5.10 家族・親族の介護による退職・転職状況<問7>

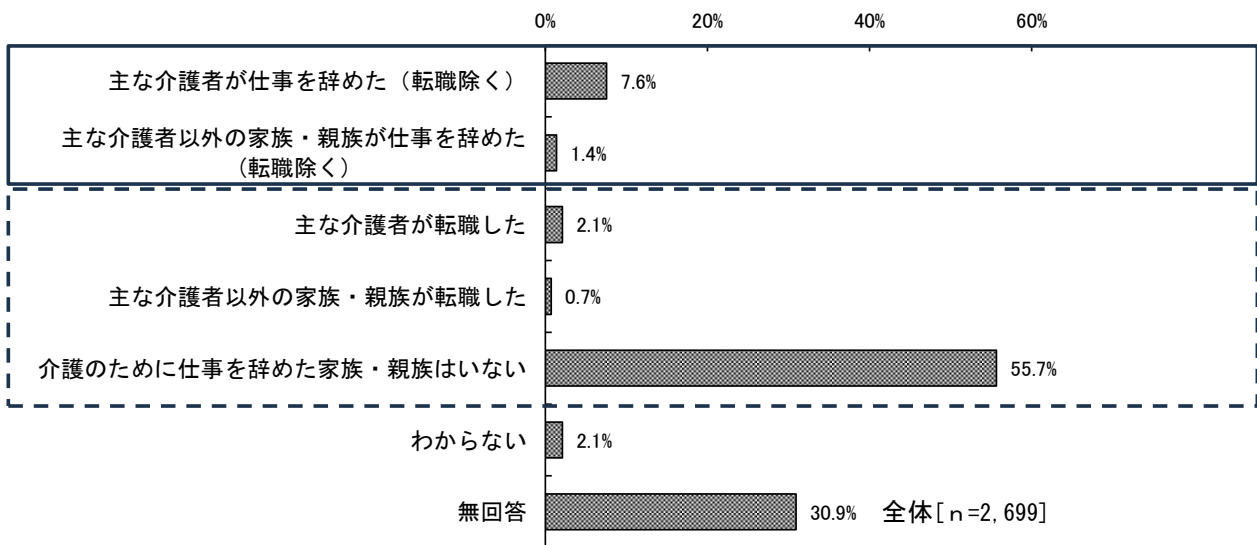
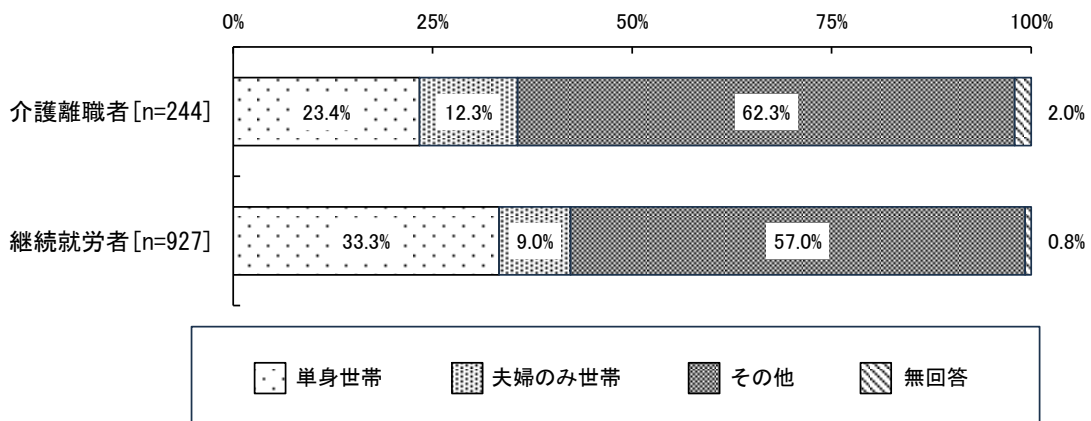


図 5.11 「介護離職者・継続就労者別」×「世帯類型<問1>

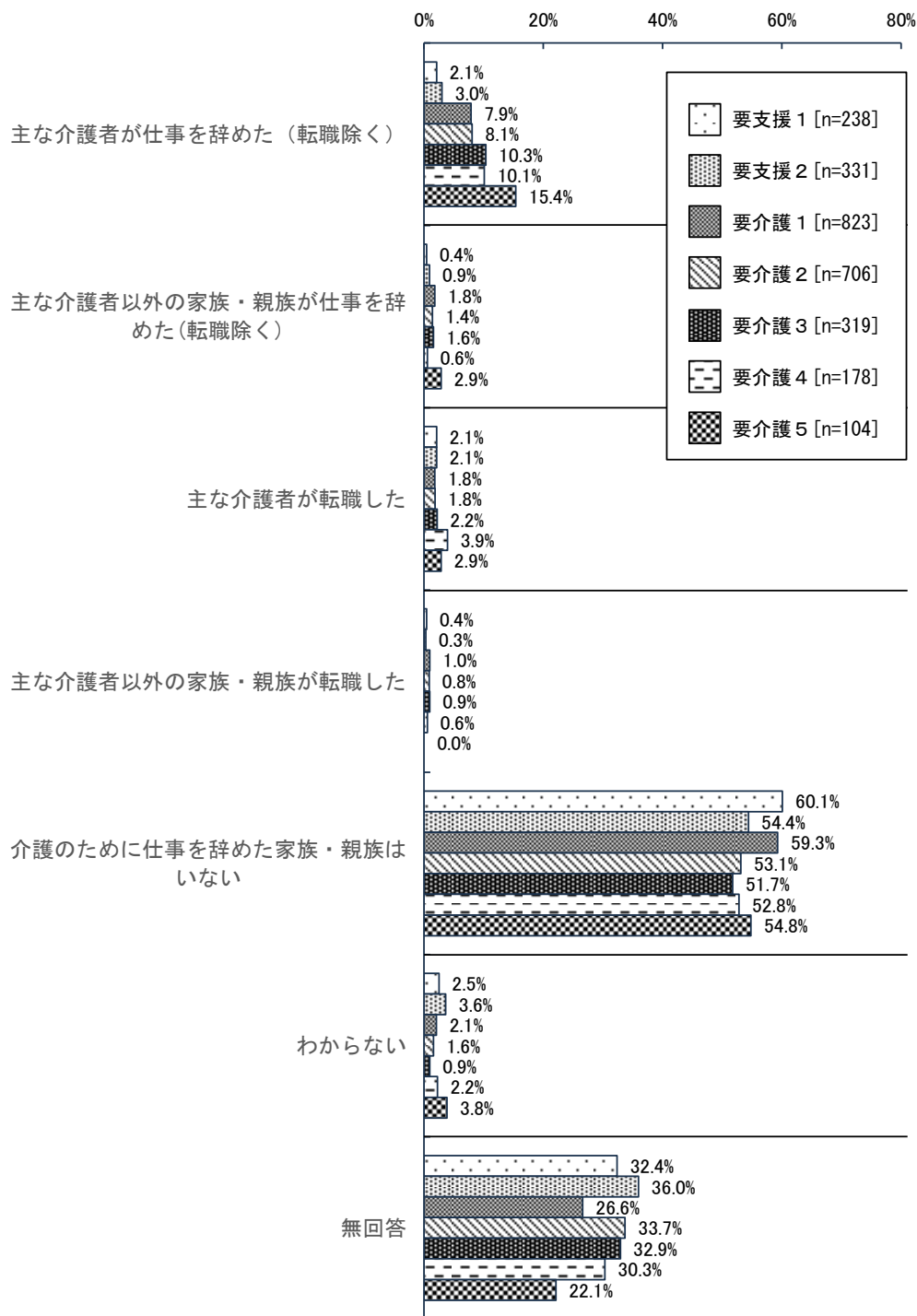


※介護離職者：問7で「仕事を辞めた（転職除く）」と回答（「1」「2」を選択）した方です。

※継続就労者：①問7で「転職した」と回答（「3」「4」を選択）した方と、②問7で「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「働いている」と回答（「1」「2」を選択）した方の計です。

○介護度別に家族・親族が介護を理由に退職・転職した状況をみると、全ての要支援、要介護度で「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」(51.7~60.1%)が最も高く、次いで要支援1・2では「わからない」(2.5%、3.6%)、要介護1~5では「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」(7.9~15.4%)となっています。

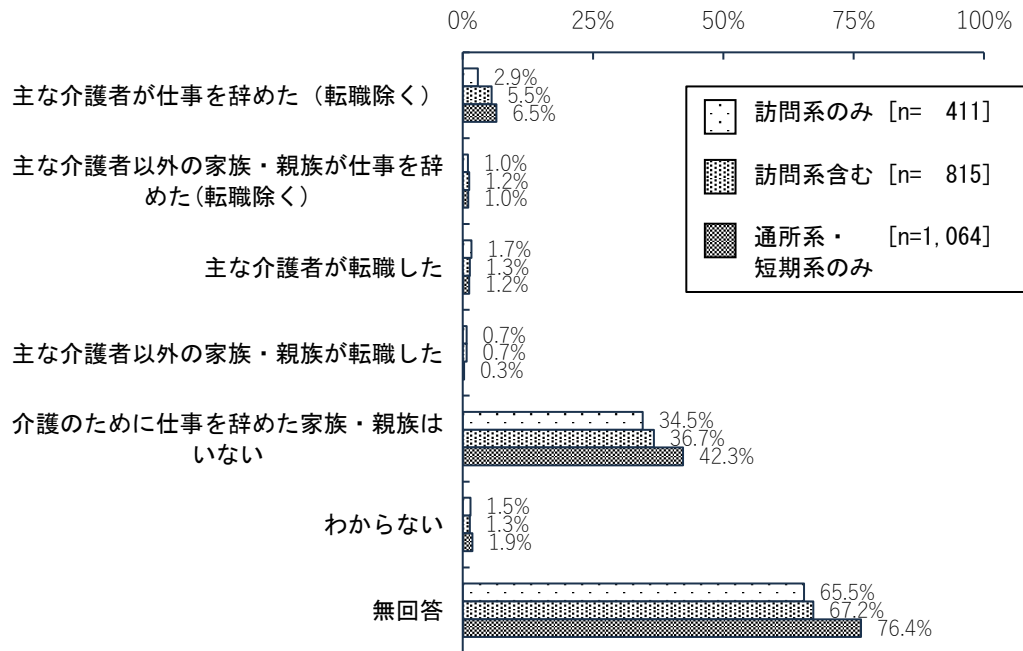
図 5.12 「介護度」×「家族・親族の介護による退職・転職状況<問 7>」



○サービス利用状況別に家族・親族が介護を理由に退職・転職した状況を見ると、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」方は、訪問系を含むサービス利用状況が7.4%、訪問系だけのサービス利用状況が2.6%、通所系・短期系だけのサービス利用状況が6.1%となっています。

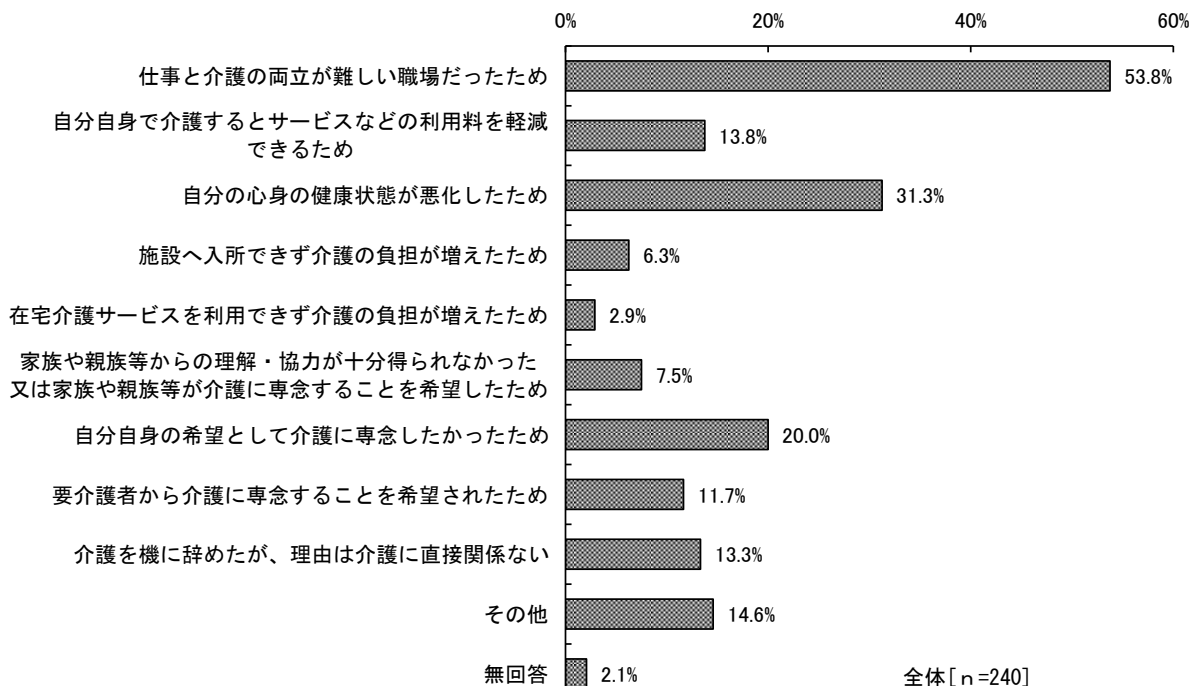
○「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」方は、訪問系を含むサービス利用状況が62.2%、通所系・短期系だけのサービス利用状況が62.0%、訪問系だけのサービス利用状況が55.3%となっています。

図 5.13 「サービス利用状況」×「家族・親族の介護による退職・転職状況<問7>」



○家族が仕事を辞めた理由としては、「仕事と介護の両立が難しい職場だったため」（53.8%）が最も高く、次いで「自分自身の健康状態が悪化したため」（31.3%）、「自分自身の希望として介護に専念したかったため」（20.0%）となっています。

図 5.14 家族が仕事を辞めた理由<問7-1>

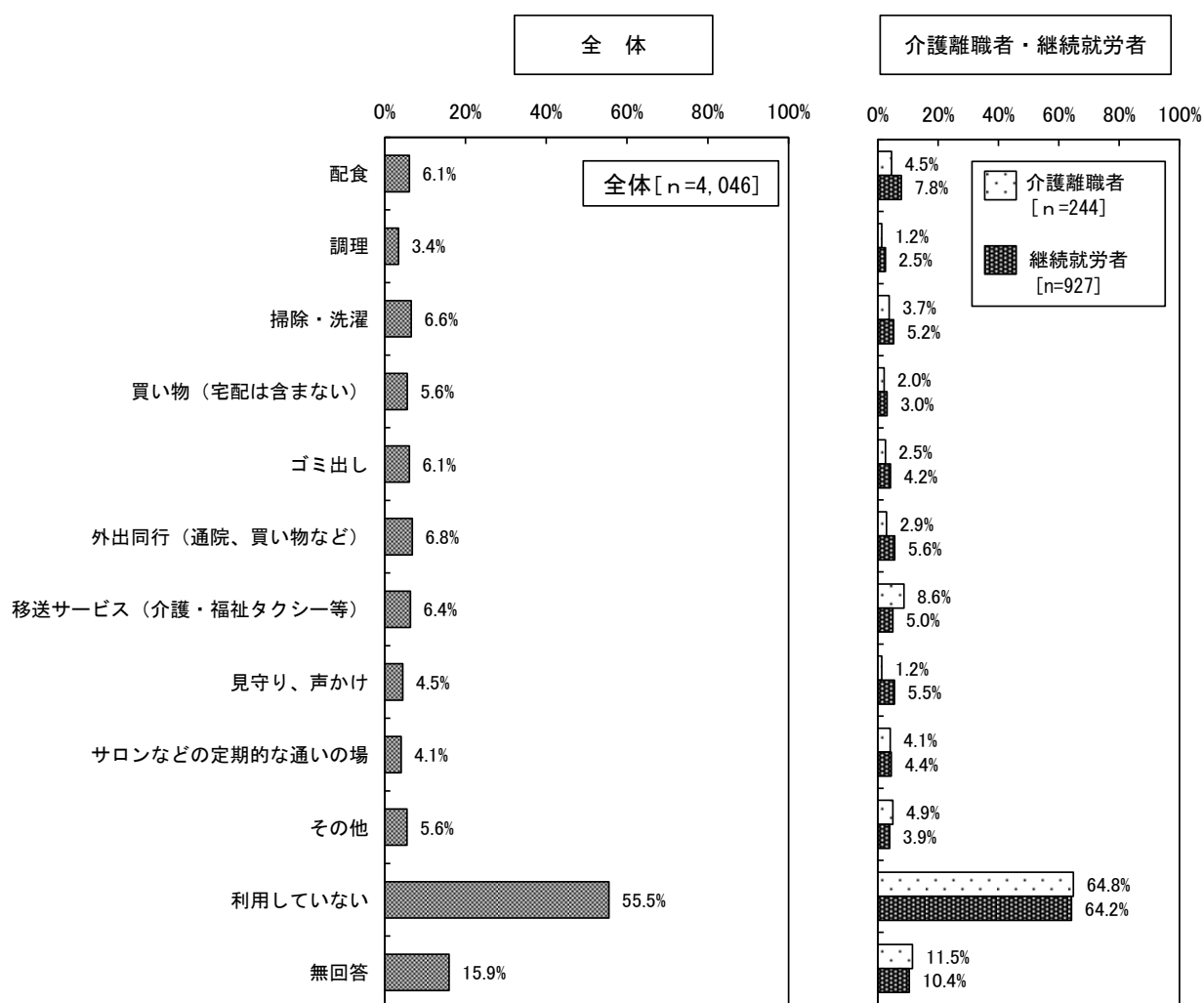


3 支援・サービス・訪問診療の利用状況やニーズについて

(1) 在宅生活を続けていくために必要な支援・サービス

- 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況をみると、全体では「利用していない」(55.5%)が最も高く、次いで「外出同行(通院、買い物など)」(6.8%)となっています。
- 介護離職者・継続就労者ともに「利用していない」(64.8%・64.2%)が最も高くなっています。次いで、介護離職者では「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(8.6%)、「配食」(4.5%)、継続就労者では「配食」(7.8%)、「外出同行(通院、買い物など)」(5.6%)となっています。

図 5.15 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況<問 8>

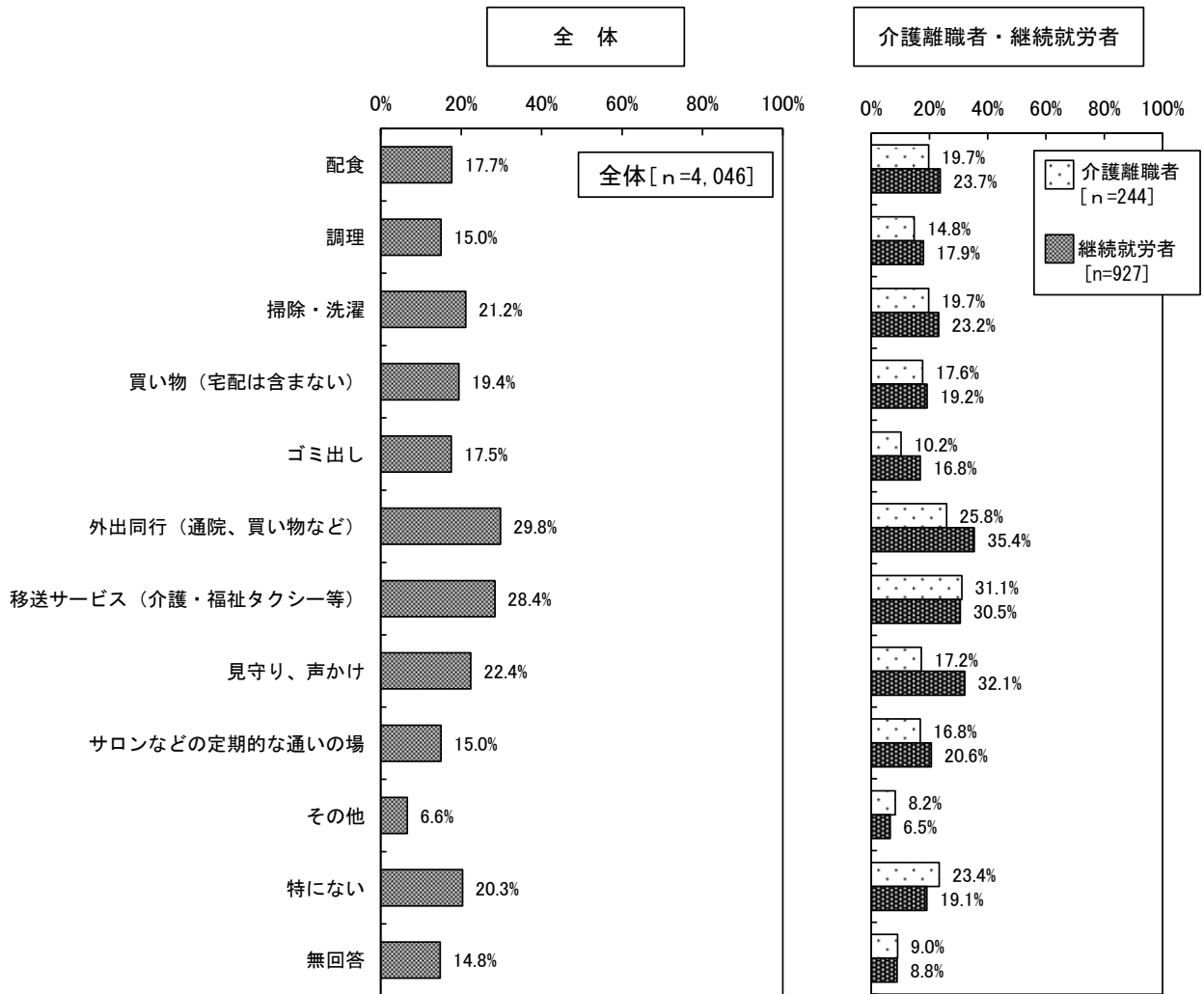


※介護離職者：問7で「仕事を辞めた(転職除く)」と回答(「1」「2」を選択)した方です。

※継続就労者：①問7で「転職した」と回答(「3」「4」を選択)した方と、②問7で「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「働いている」と回答(「1」「2」を選択)した方の計です。

- 在宅生活を続けていくために必要な支援・サービスをみると、全体では「外出同行（通院、買い物など）」(29.8%)が最も高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(28.4%)、「見守り、声かけ」(22.4%)、「掃除・洗濯」(21.2%)となっています。
- 介護離職者では、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」(31.1%)が最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」(25.8%)となり、継続就労者では「外出同行（通院、買い物など）」(35.4%)が最も高く、次いで「見守り、声かけ」(32.1%)となっています。

図 5.16 在宅生活を今後も続けていくために必要な支援・サービス<問9>



※介護離職者：問7で「仕事を辞めた（転職除く）」と回答（「1」「2」を選択）した方です。

※継続就労者：①問7で「転職した」と回答（「3」「4」を選択）した方と、②問7で「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「働いている」と回答（「1」「2」を選択）した方の計です。

- 在宅生活を続けていくにはどの介護サービスが必要だと思うかでは、全体では「デイサービスなどの通所系のサービス」(26.7%)が最も高く、次いで「ヘルパーなどの訪問系のサービス」(23.7%)、「ショートステイなどの短期系サービス」(22.7%)となっています。
- 介護度別にみると、「要支援1」～「要介護1」では「デイサービスなどの通所系のサービス」(30.2%～32.3%)が最も高く、「要介護2」～「要介護4」では「ショートステイなどの短期系サービス」(27.5%～30.3%)が最も高く、「要介護5」では「ヘルパーなどの訪問系のサービス」(35.3%)が最も高くなっています。

図 5.17 どの介護サービスが必要だと思うか<問 9-1>

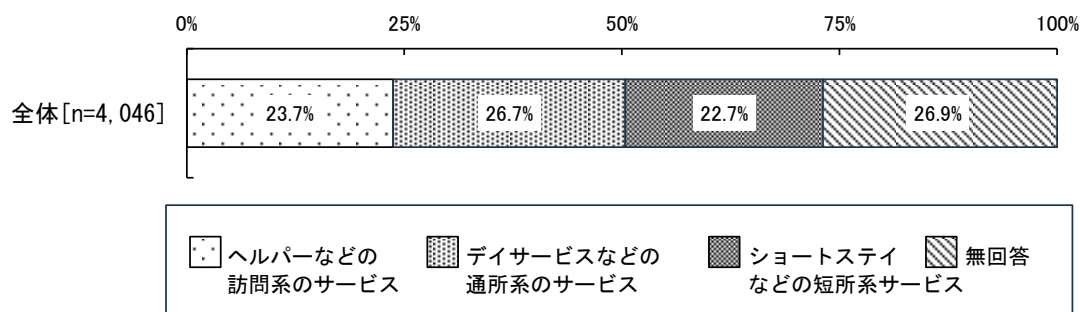
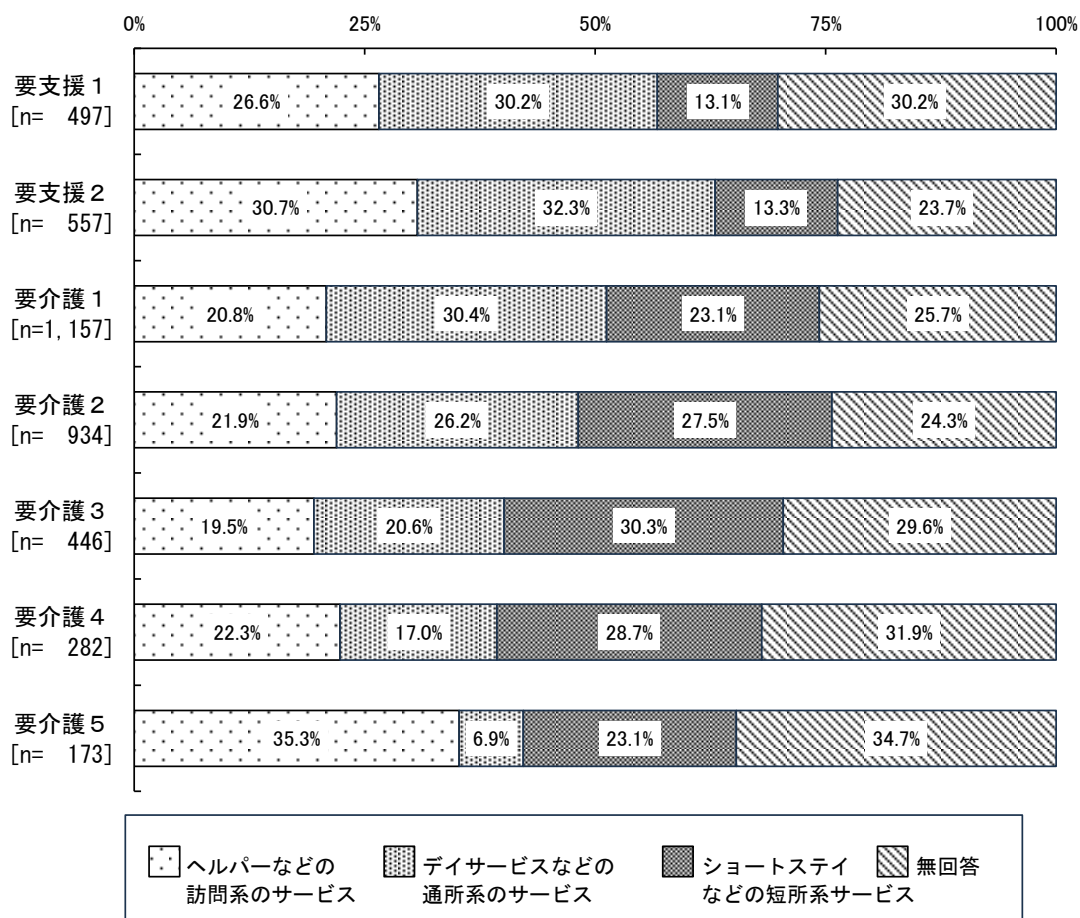


図 5.18 「要介護度」 × 「どの介護サービスが必要だと思いますか<問 9-1>」



○施設等への入所・入居に関する検討状況をみると、全体では「入所・入居を検討している」と「すでに入所・入居の申し込みをしている」を合わせた30.9%が、入所・入居予定または検討中となっています。

○介護度別の検討状況では、「入所・入居を検討している」と「すでに入所・入居の申し込みをしている」を合わせた入所・入居予定または検討中の方は、要支援1では14.3%、要支援2では15.6%、要介護1では28.3%、要介護2では36.9%、要介護3では50.7%、要介護4では44.3%、要介護5では41.0%となっています。

図 5.19 施設等への入所・入居に関する検討状況<問 10>

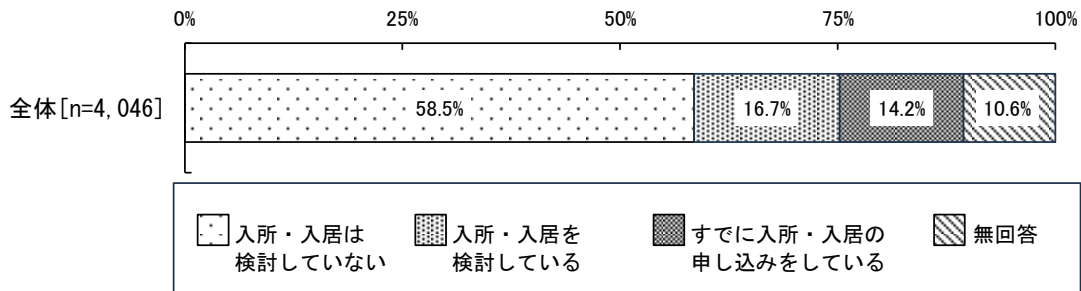
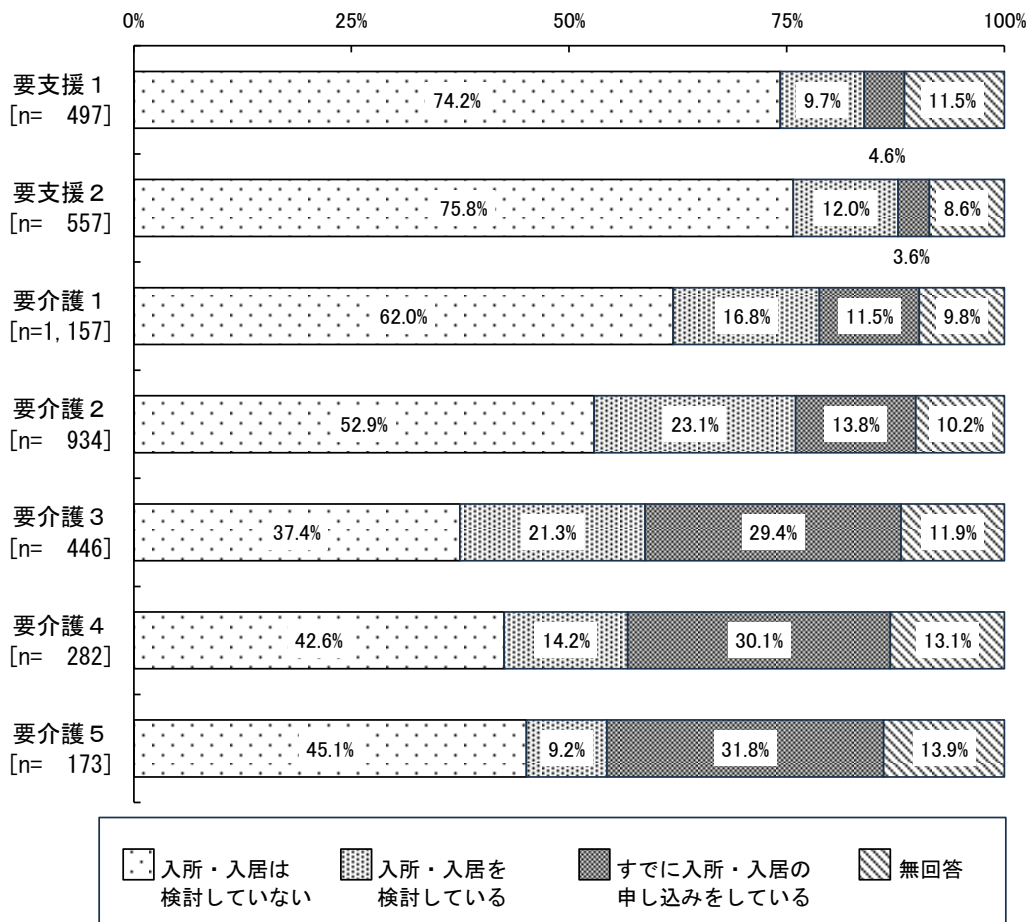
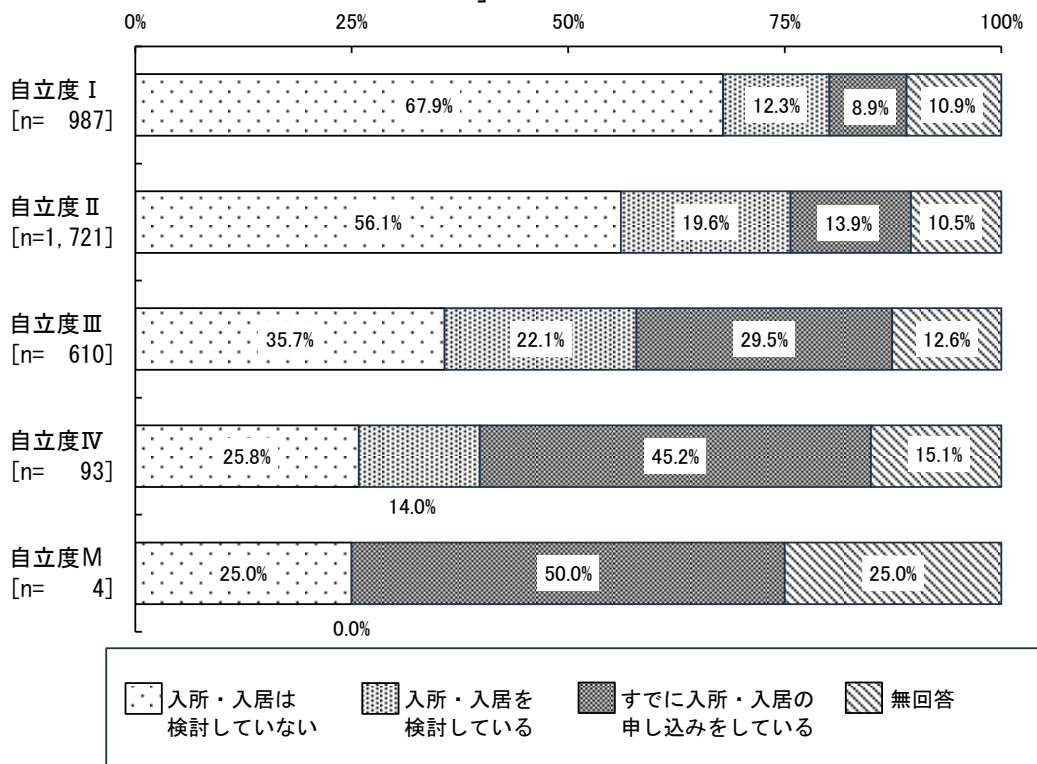


図 5.20 「要介護度」 × 「施設等への入所・入居に関する検討状況<問 10>」



○認知症高齢者日常生活自立度別にみた施設等への入所・入居に関する検討状況は、自立度 I～IVすべてにおいて、「入所・入居は検討していない」(55.7%～60.0%)が最も高く、次いで「入所・入居を検討している」(19.3%～21.1%)、「すでに入所・入居の申し込みをしている」(10.2%～13.2%)となっています。

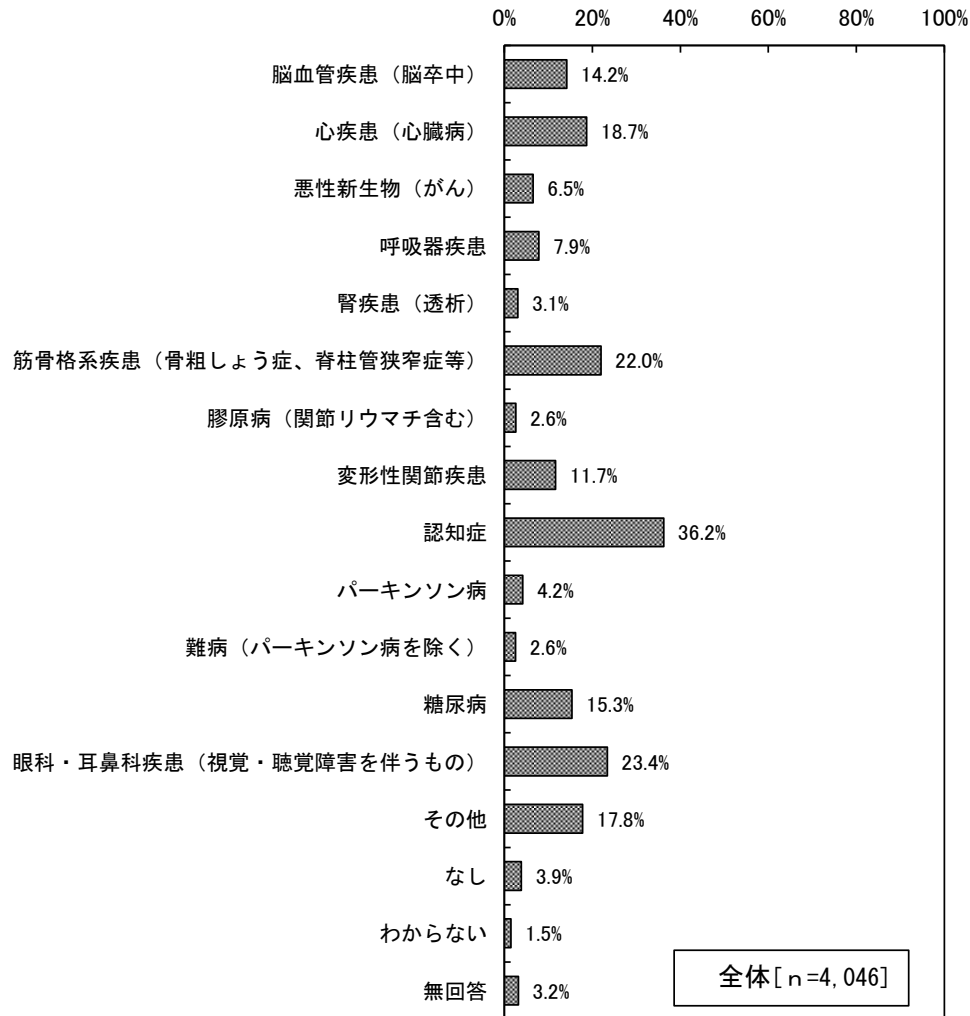
図 5.21 「認知症高齢者日常生活自立度」×「施設等への入所・入居に関する検討状況<問 10>」



（2）訪問診療の利用状況

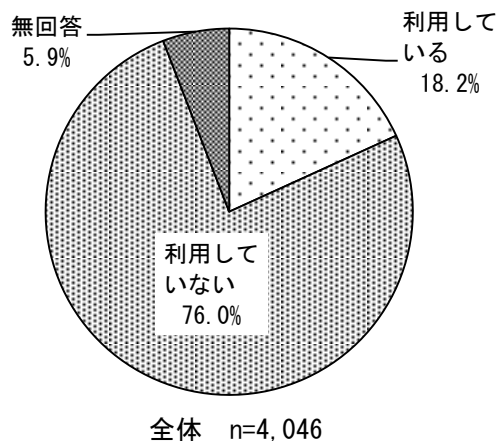
○要介護者が現在抱えている傷病名をみると、「認知症」（36.2%）が最も高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」（23.4%）、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」（22.0%）となっています。

図 5.22 要介護者が現在抱えている傷病名<問 11>



○訪問診療の利用状況をみると、「利用している」方は18.2%となっています。

図 5.23 訪問診療を利用しているか<問 12>



(3) 介護保険サービスの利用状況

- 介護保険サービスの利用状況を見ると、「利用している」は57.6%、「利用していない」は36.5%となっています。
- 介護保険サービスを利用していない理由としては、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(42.2%)が最も高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」(17.7%)、「本人（要介護者）にサービス利用の希望がない」(16.5%)となっています。

図 5.24 介護保険サービスの利用状況<問 13>

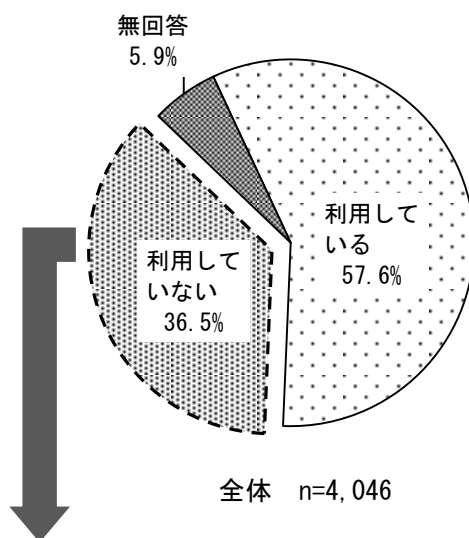
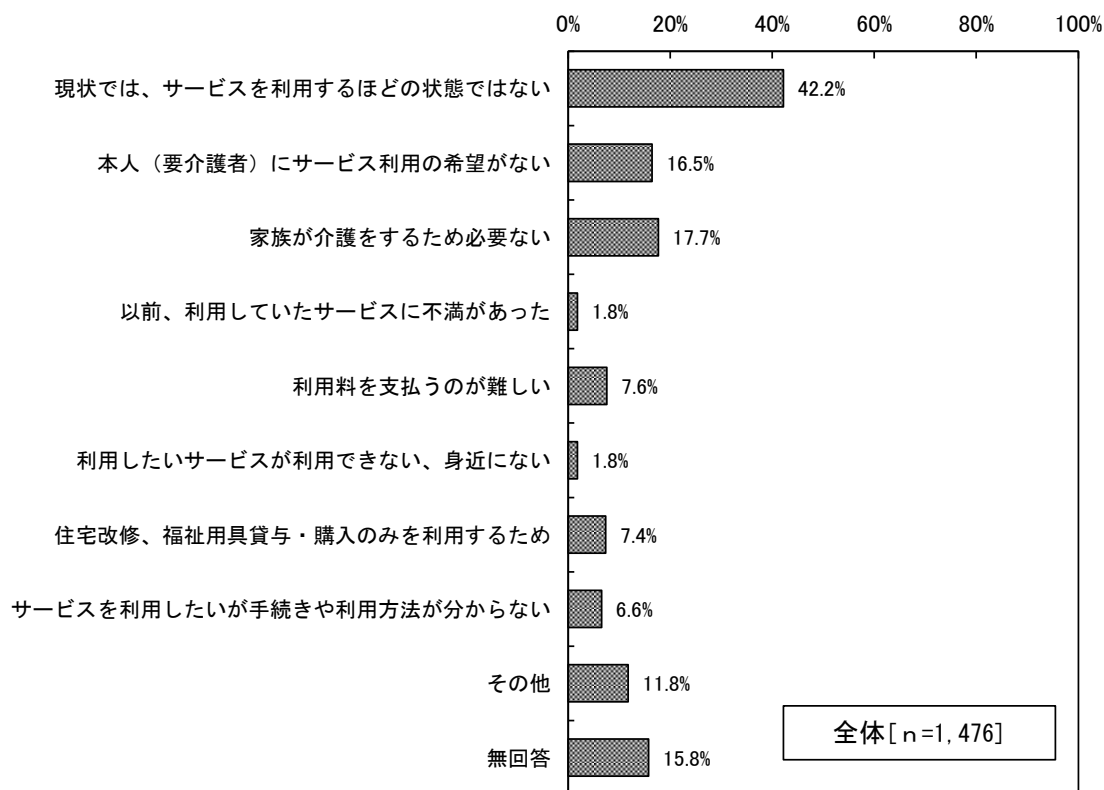


図 5.25 介護保険サービスを利用していない理由<問 13-1>

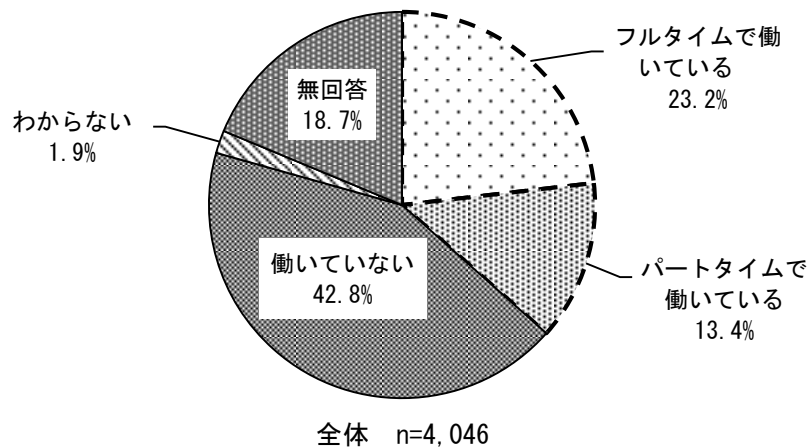


4 主な介護者の就労状況について

(1) 主な介護者の勤務形態

○主な介護者の現在の勤務形態は「フルタイムで働いている」(23.2%)、「パートタイムで働いている」(13.4%)を合わせた36.6%の方が就労しています。

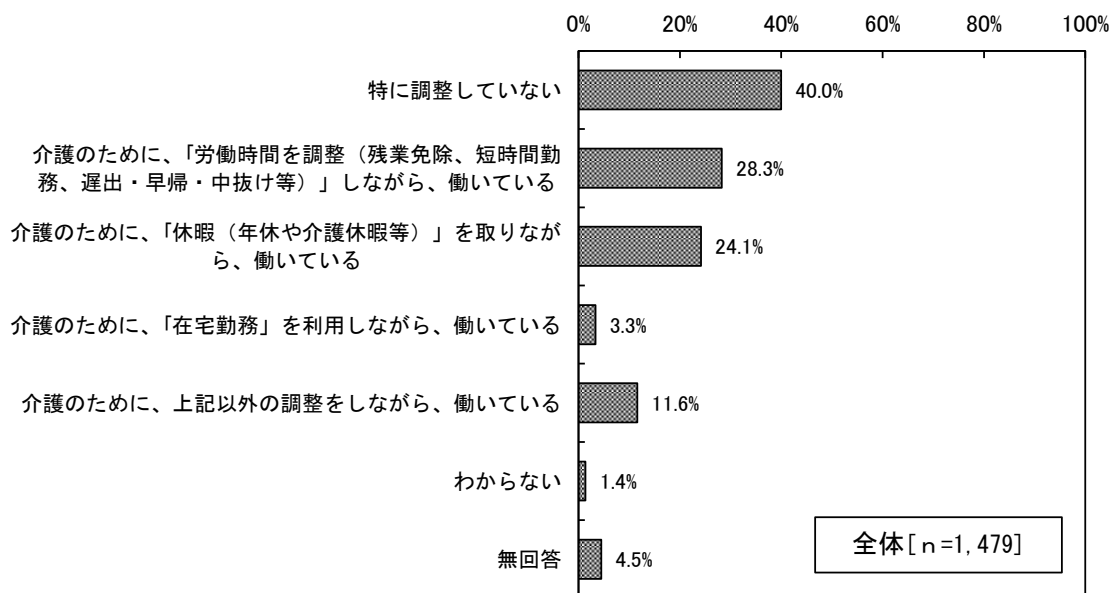
図 5.26 主な介護者の現在の勤務形態<問 14>



(2) 就労実態と意向

○介護による働き方の調整をみると、「特に調整していない」(40.0%)が最も高く、次いで、「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」(28.3%)、「介護のために、『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている」(24.1%)となっています。

図 5.27 働き方を調整しているか<問 14-1>



- 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援をみると、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」(27.0%)、「制度を利用しやすい職場づくり」(23.9%)、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」(22.7%)となっています。
- 今後の介護と仕事の両立については、「問題なく、続けていける」(21.6%)と「問題はあるが、何とか続けていける」(52.7%)を合わせた今後も継続できる方は74.3%、一方、「続けていくのは、やや難しい」(7.6%)と「続けていくのは、かなり難しい」(7.4%)を合わせた継続が困難な方は15.0%となっています。

図 5.28 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援<問 14-2>

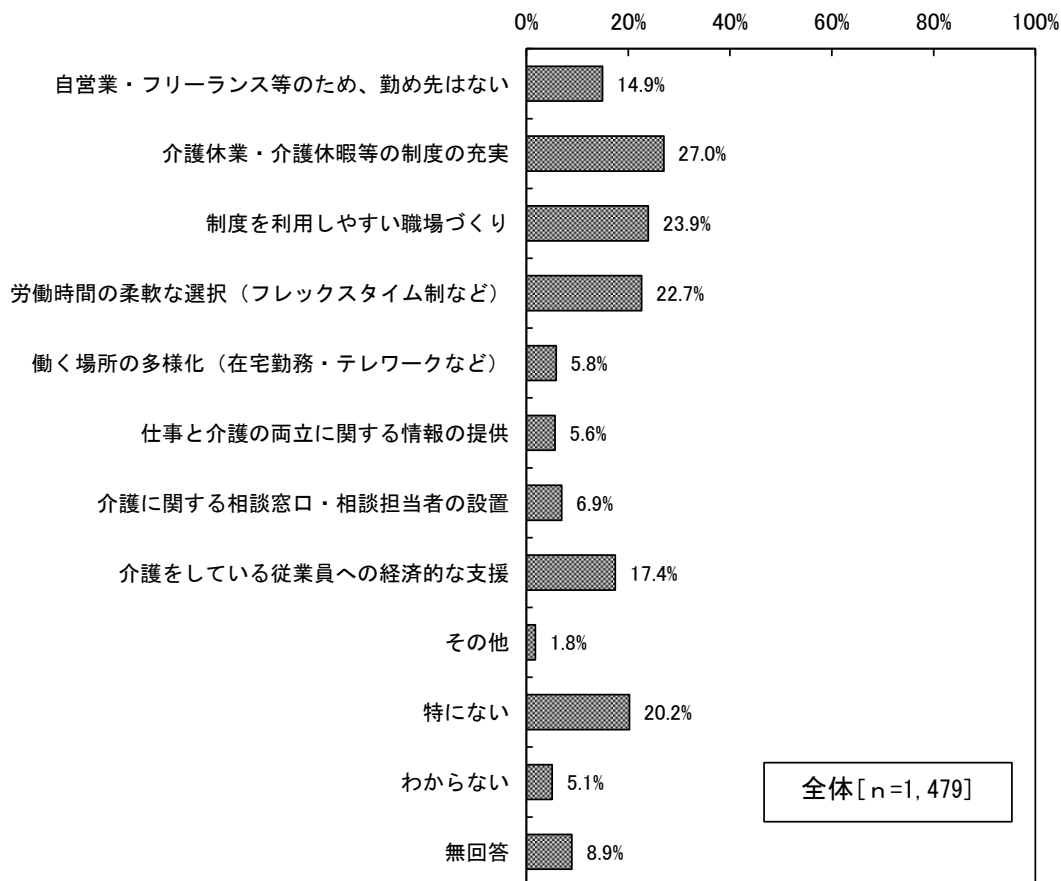
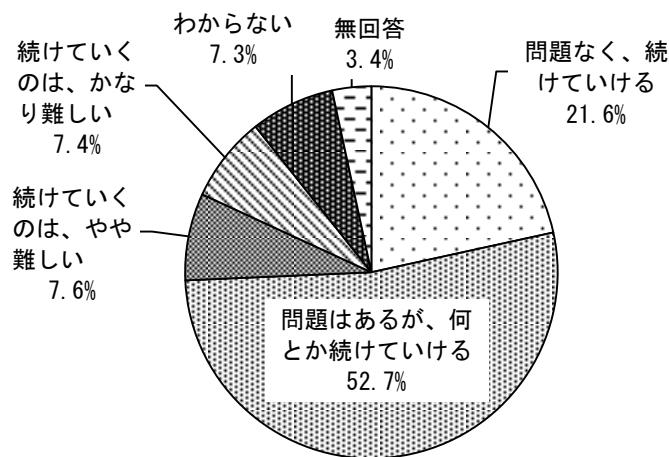


図 5.29 今後も働きながら介護を続けられるか<問 14-3>



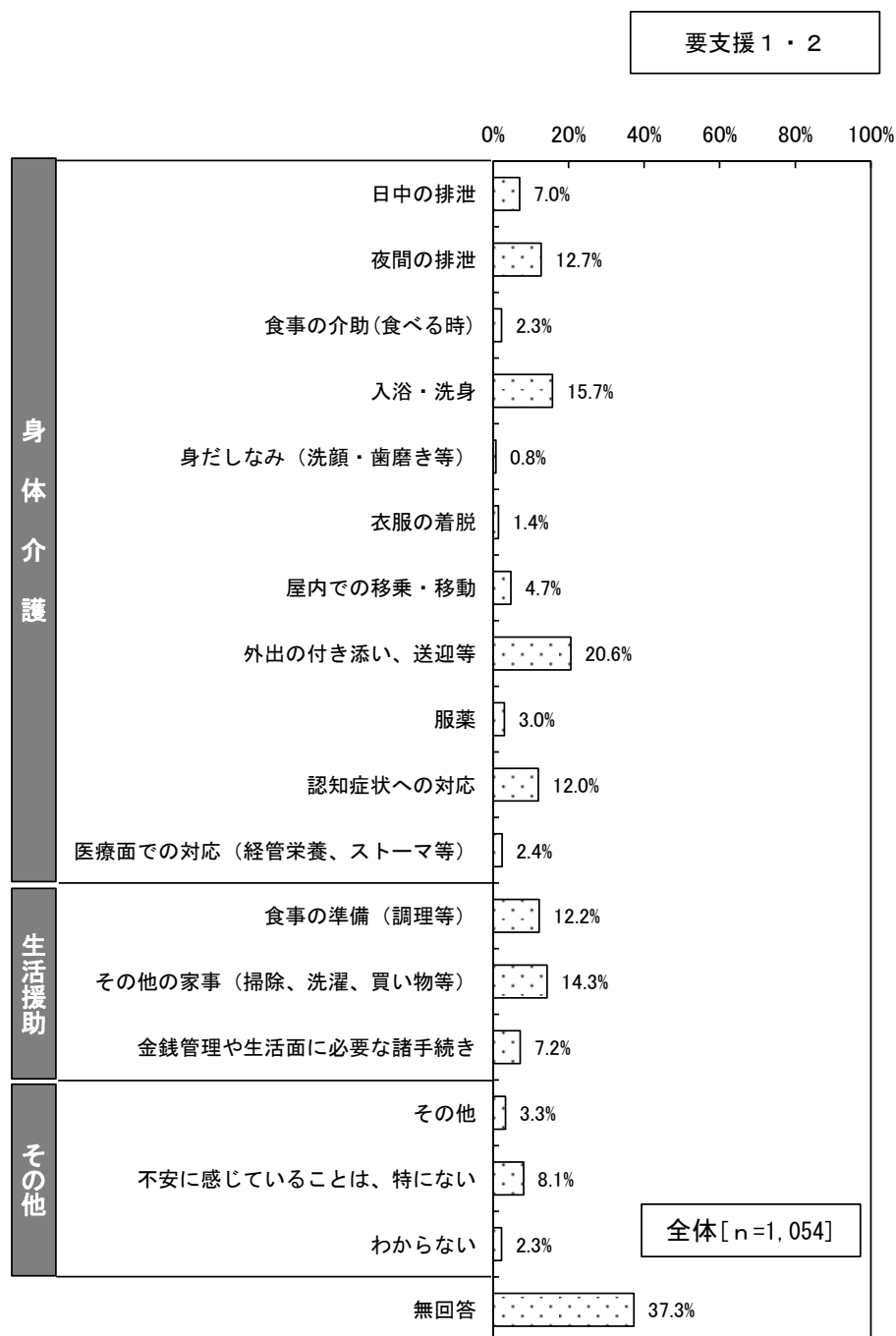
全体 n=1,479

5 介護生活を続ける際の不安や困りごと

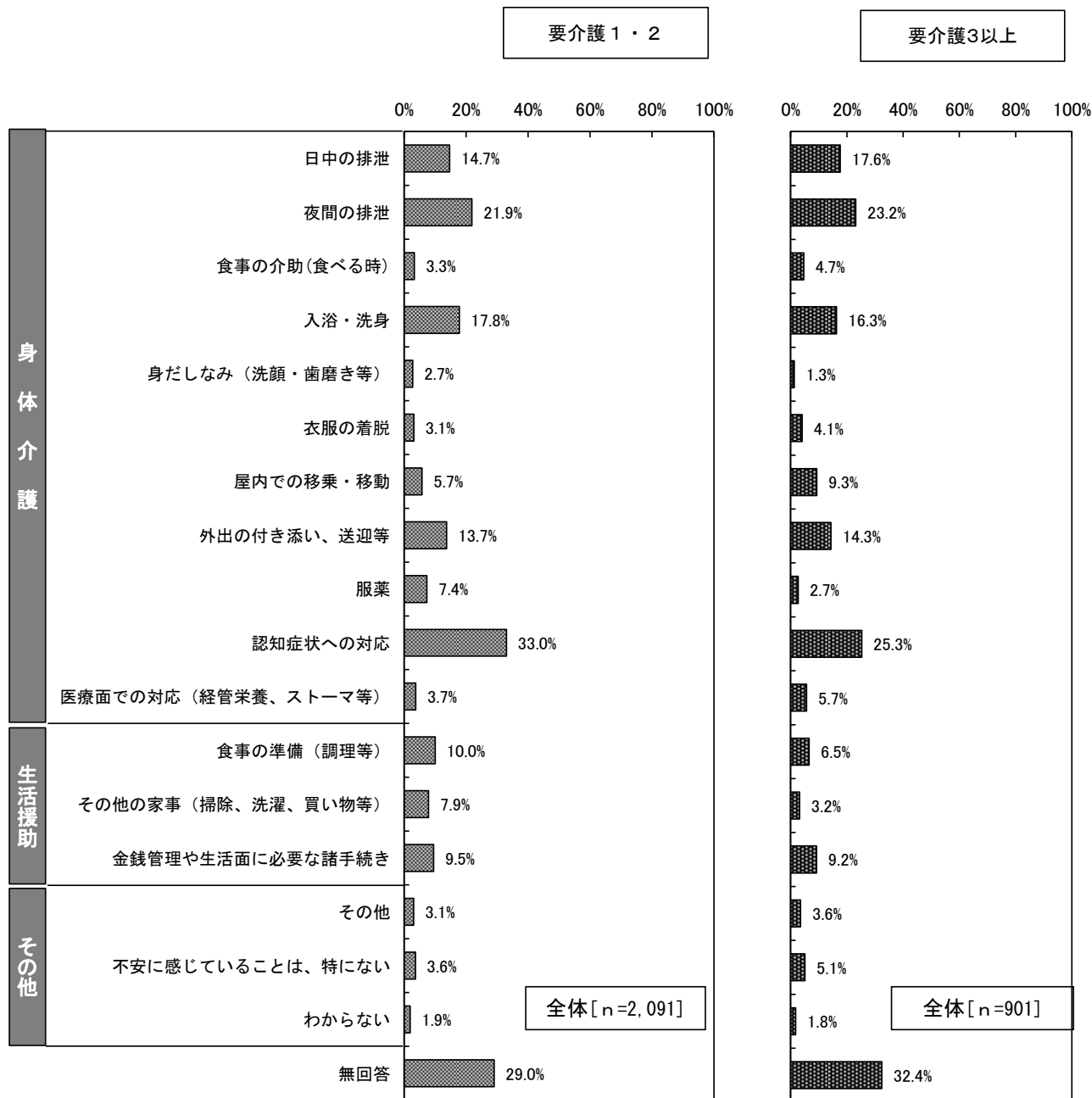
（1）主な介護者が不安に感じる介護等の内容

- 主な介護者が不安に感じる介護内容を見ると、要支援1・2の方の身体介護では「外出の付き添い、送迎等」（20.6%）、「入浴・洗身」（15.7%）、「夜間の排泄」（12.7%）、「認知症状への対応」（12.0%）で割合が高くなっています。
- 生活援助では、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が14.3%、「食事の準備（調理等）」が12.2%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が7.2%となっています。

図 5.30 主な介護者が不安に感じる介護等<問 15>



- 要介護1・2の方の身体介護では、「認知症状への対応」(33.0%)、「夜間の排泄」(21.9%)、「入浴・洗身」(17.8%)で割合が高くなっています。
- 生活援助では、「食事の準備(調理等)」(10.0%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(9.5%)、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(7.9%)となっています。
- 要介護3以上の方の身体介護をみると、「認知症状への対応」(25.3%)、「夜間の排泄」(23.2%)、「日中の排泄」(17.6%)で割合が高くなっています。
- 生活援助では、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が9.2%、「食事の準備(調理等)」が6.5%、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が3.2%となっています。



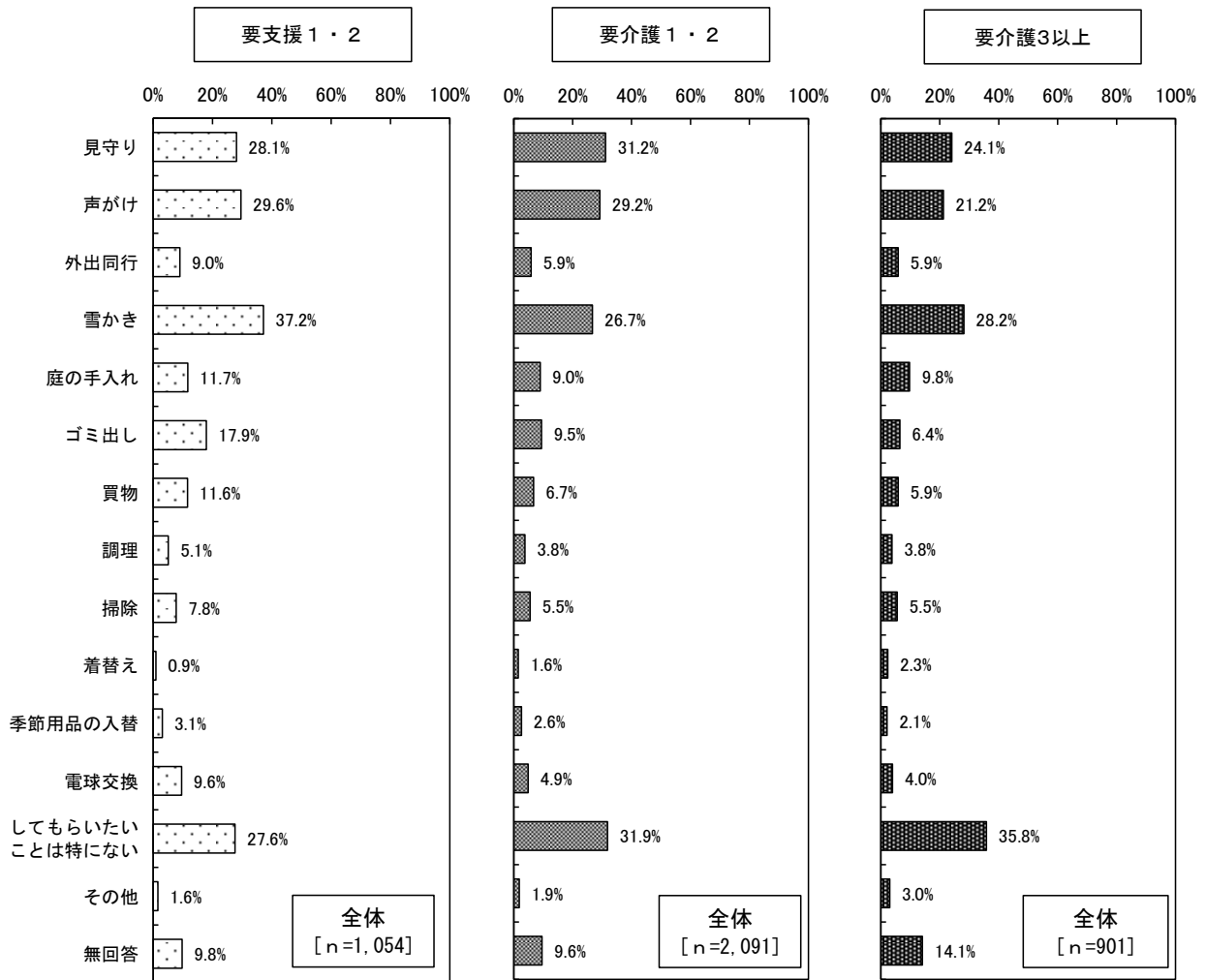
○生活の困りごとを近隣の人をお願いできるとしたら、要支援1・2は「雪かき」(37.2%)が最も高く、次いで「声がけ」(29.6%)、「見守り」(28.1%)となっています。

○要介護1・2では「見守り」(31.2%)が最も高く、次いで「声がけ」(29.2%)、「雪かき」(26.7%)となっています。

○要介護3以上では「雪かき」(28.2%)が最も高く、次いで「見守り」(24.1%)、「声がけ」(21.2%)となっています。

○一方、「してもらいたいことは特にない」と回答した方は、要支援1・2が27.6%、要介護1・2が31.9%、要介護3以上が35.8%となっています。

図 5.31 生活の困りごとを近隣の人をお願いできるとしたら<問 16>



6 もしものときの話し合いについて

- もしものときの話し合いの有無をみると、「詳しく話し合っている」と「一応話し合っている」の割合を合わせると、要支援1・2は51.8%、要介護1・2は52.0%、要介護3以上は59.6%となっています。
- 話し合ったきっかけとしては、要支援1・2は「自分の病気」(48.4%)が最も高く、次いで「ご家族等の病気や死」(39.6%)、「介護関係者による説明や相談の機会を得た時」(23.8%)となっています。要介護1・2は「ご家族等の病気や死」(38.6%)が最も高く、次いで「介護関係者による説明や相談の機会を得た時」(36.8%)、「自分の病気」(34.7%)となっています。要介護3以上は「介護関係者による説明や相談の機会を得た時」(45.1%)が最も高く、次いで「医療関係者による説明や相談の機会を得た時」(36.7%)、「ご家族等の病気や死」(33.1%)、となっています。
- 話し合っていない理由として、要支援1・2、要介護1・2、要介護3以上のいずれも「話し合うきっかけがなかったから」(44.4%・49.7%・52.0%)が最も高く、次いで「話し合う必要性を感じていないから」(27.3%・23.4%・20.9%)となっています。

図 5.32 問17 もしものときの話し合いの有無<問17>

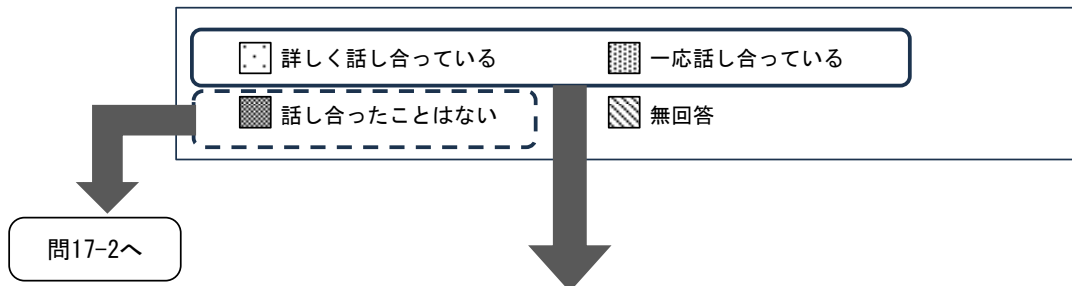
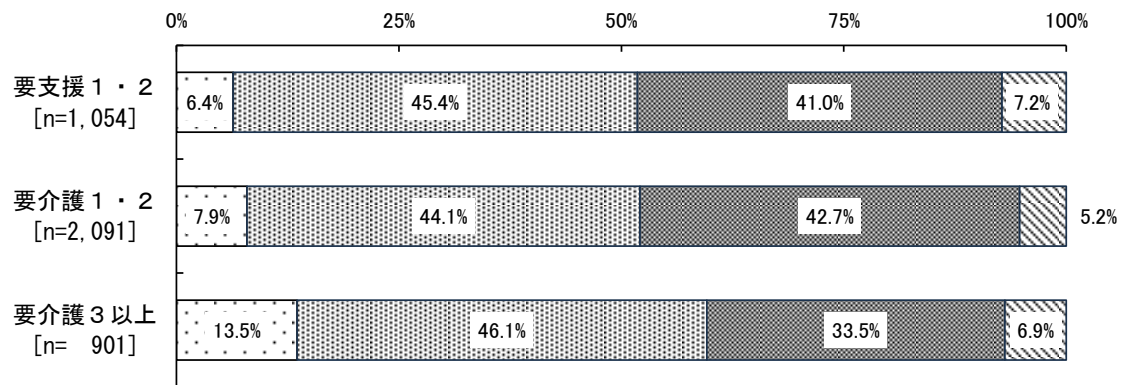


図 5.33 話し合ったきっかけ<問17-1>

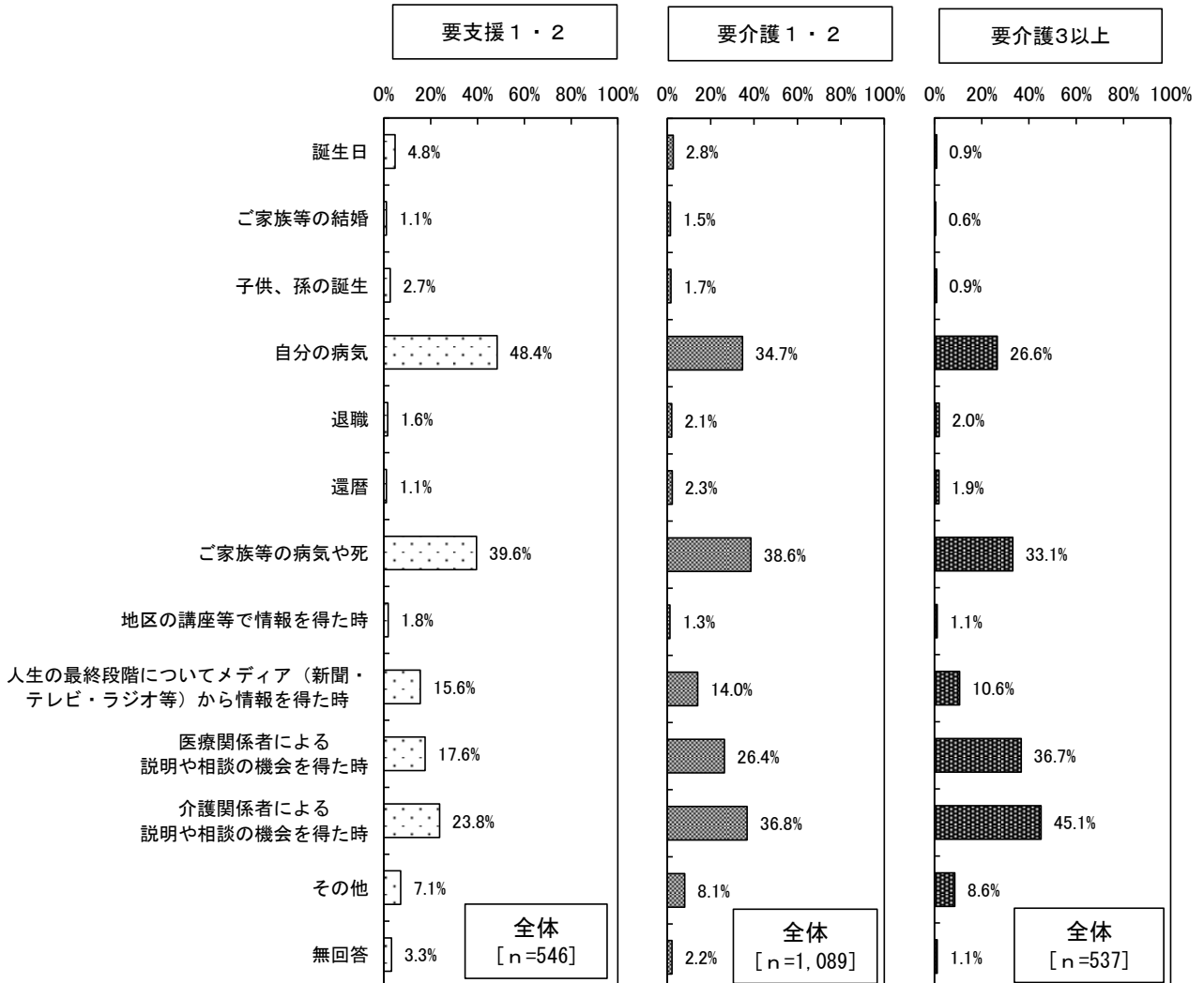
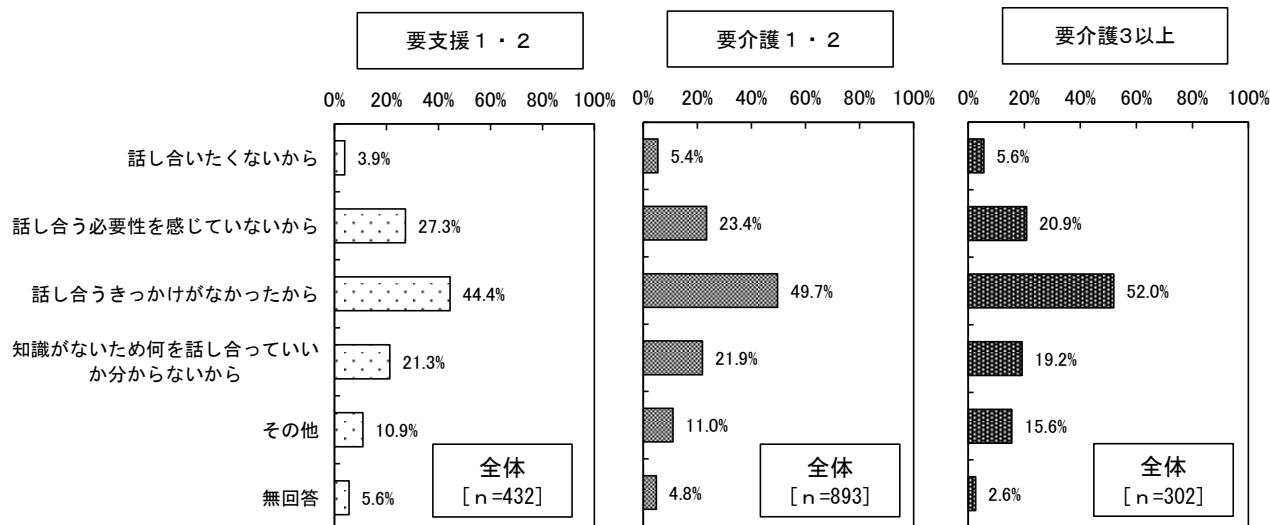
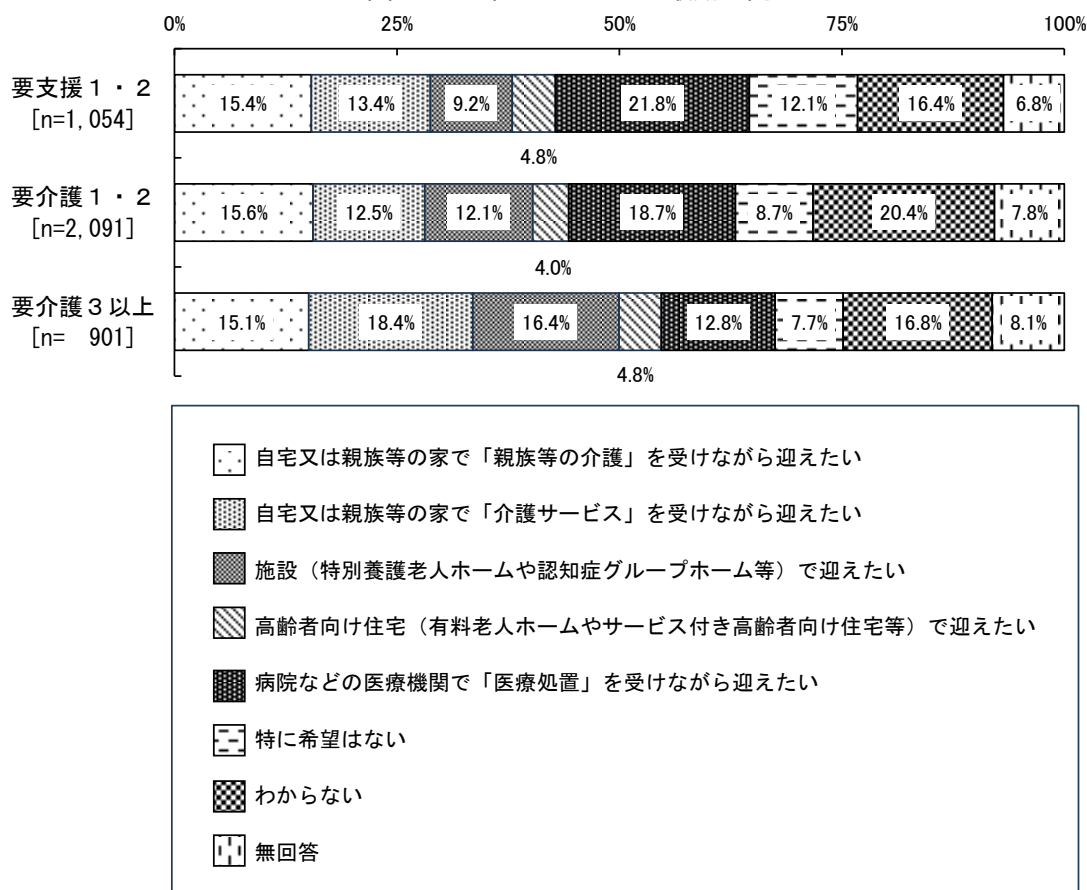


図 5.34 話し合っていない理由<問 17-2>



○希望する人生の最期については、要支援 1・2、要介護 1・2 はいずれも「病院などの医療機関で『医療処置』を受けながら迎えたい」(21.8%・18.7%) が最も高く、次いで「自宅又は親族等の家で『親族等の介護』を受けながら迎えたい」(15.4%・15.6%) となっており、要介護 3 以上は「自宅又は親族等の家で『介護サービス』を受けながら迎えたい」(18.4%) が最も高く、次いで「施設（特別養護老人ホームや認知症グループホーム等）で迎えたい」(16.4%)、「自宅又は親族等の家で『親族等の介護』を受けながら迎えたい」(15.1%) となっています。

図 5.35 希望する人生の最期<問 18>



- 自宅又は親族等の家で「親族等の介護」を受けながら迎えたい
- 自宅又は親族等の家で「介護サービス」を受けながら迎えたい
- 施設（特別養護老人ホームや認知症グループホーム等）で迎えたい
- 高齢者向け住宅（有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅等）で迎えたい
- 病院などの医療機関で「医療処置」を受けながら迎えたい
- 特に希望はない
- わからない
- 無回答

○新型コロナウイルス感染症流行以前と比べ、気になる項目については、要支援1・2、要介護1・2、要介護3以上いずれも「身体の衰え」（62.1%・60.3%・60.6%）が最も高く、次いで「もの忘れ」（33.3%・50.2%・34.0%）、「気分の落ち込み」（24.8%・21.7%・20.4%）となっています。

図 5.36 新型コロナウイルス感染症流行以前と比べ、気になる項目＜問 19＞

